

緊急事態宣言解除を受けて表現プログラムも再開しました。



上:演劇ワークショップでの即興芝居の一場面

下左:あっこちゃんの会 下右:今日の出逢いを体験するの様子



ひと花センター9年目へ

私はひと花センター開設の巧72才で登録しました。始めはスタッフもさびりだったし登録者の人数も...

ひと花新聞

第93号

令和3年7月5日 発行・NPO法人釜ヶ崎支援機構 ひと花センター 〒557-0002 大阪市西成区太子1-13-15 電話・06-6649-7890

ひまわりや夏の運命か美を誇る 政

登山靴はきて ヒザ小僧 押さえけり なへさん

夏の星 数えた昔 なつかしい ゴッド

うな重の たれのあまさと 冷や酒と みみずの玉子

端折りの 本を枕に 昼寝かな 一平

夏の夕 怪談話し 孫笑う

岡本太郎

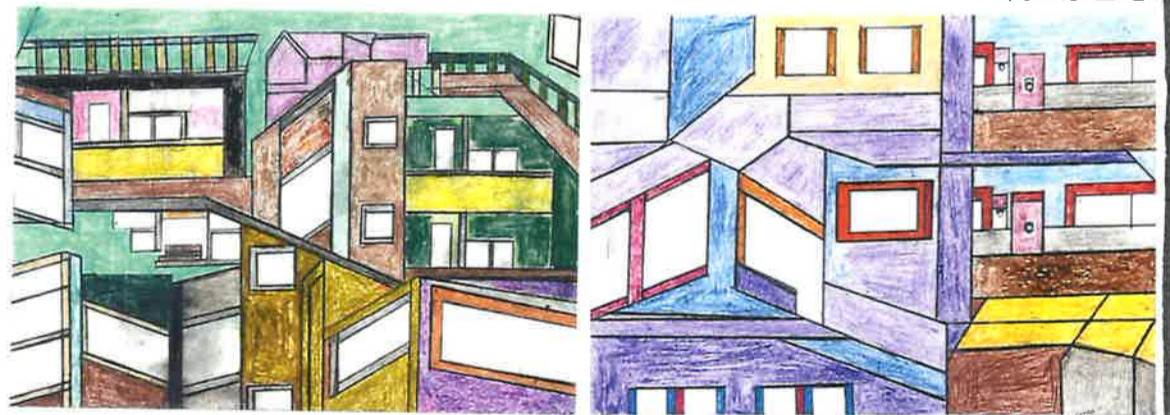
京都府界に緊急事態宣言は解除2017/7/1日... 酒類の提供も原則停止される中...



ふれあい広場での農作業も継続中。昨年仕込んだ堆肥がいい塩梅です。今年はブドウも沢山実をつけています。

健康には気を付けて...

『街の景色』



トマトも色づき始めました。



昭和は遠くなりにけり(A) おお相撲が最も華やかだった... 昭和30年代後半から40年代にかけて...

※ ひと花センターは、西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業として、平成25年からスタートしています。

追悼

藤原 政博 さん



藤原政博さん逝く
 本当に、突然、の事でいまでも、まだ信じられません。6月22日の、朝に、泉南市の、知人から、今、警察から、藤原さんが、亡くなられたと、連絡が、あったけど、あんな元気な、人が、信じられないので、もう一度、確認して欲しいと、連絡が有り、ひと花センターの、職員さんや、ヘルパーさん皆で、確認したら、間違いのない事でした。私と藤原さんの付き合いはひと花センターでの、付き合いですが、カラオケ大好き、将棋大好き、いつもニコニコしていても、嫌いなものは嫌い。でも、人の、嫌がる事はしない筋の通った人でした。手品の、スプーン曲げが、気になって、何度も挑戦したがスプーンで、指先切って痛いわ。今度教えてくれて、言っていたのを思い出します。朝、洗濯して、濡れた洗濯物が、干してあったそうですが、本人も無念だろうなと、思います。デイサービスが楽しみって、いつも嬉しそうに言っていましたね。先に、逝かれた友達の、平澤貴洋さんと逢いましたか？私達、ひと花センターのメンバーは、貴方の事は忘れません。今は、まだ実感は、湧きませんが、貴方の、歌や、顔を見れず寂しくなります。そしてさようなら ありがとうございます。 桐井でした。

噴水で 燥ぐ童の 泣き笑い 一平

初なすび むらさき肌 玉しずく なべさん



ぼた山 12 月と
 思いぬと 花火と
 みみずりみ子



ケイタイの
 向こうに聞こえる
 花火かな
 政

風呂上り 嫁の浴衣に 惚れなおし

岡本太郎



藤原さんが亡くなる 2 日前に撮影。緊急事態宣言解除直前、朝からひと花の友人とよく将棋を指していました。



スタッフ ウエノ作

(文月)
 6月20日宣言が解除して気分的に心と体も元気です。巣ごもり疲れと解けて「ワクチン」と二回打つ貰い安心して気持ち落付きました。
 厳しいコロナ禍が続く中負けずに元気で生きて行けるのもひと花センターと言う頼れる居場所があるからです。自由と健康があれば楽しく生きて行けます。これから夏本番 梅雨明け 厳しい暑が続くと思うと少し弱気になります。まだマスクを外せない状態なので暑さの敵熱中症が少し心配です。でも負けない様にしっかりと水分と栄養を補給して 出まわりの汗で乗り越えたいです。
 (健康と笑顔が1番) 政

藤原さんからひと花新聞7月号への最後の寄稿。

ひと花の友
 ひと花センターで、5年ほどつきあいの会った、藤原政博さんが6月22日の、なくなりました。センターNO.146番、ふるかぶです。昨日まで元気なセンターにきていたのに、びっくりしました。藤原さんとヤンぽり公園のそうじ草取りなど、ひと花のいろいろなプログラムに、さんかしていただいたので、それを思い出しながら、おねまじり下さい。天国でひと花をひらきましよう。 岡本元晴



生国太く

令和三年 藤原

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12



町の名がとくなくなりけり 釜ヶ崎

藤やん

梅雨明け 西成にも 地獄の汗 FURU